

2015年3月19日

学会認定・臨床輸血看護師制度
協議会 会長 大戸 齊
審議会 会長 田崎哲典
試験委員長 梶原道子

(1) 筆記試験

1. 実施日、会場：平成26年11月9日（日）、大宮ソニックシティ
2. 時間、内容：2時間（9：45～11：45）、多肢選択式問題40題（80点）、記述式問題2題（20点）
3. 受験者数：107名（受験申請者110名中、受験辞退者3名を除く）
4. 成績：平均点84.5点、最高点100点、最低点61点、標準偏差8.8点
5. 筆記試験合格者数：107名

(2) 病院研修

1. 期間、会場：平成27年1月6日～3月2日において、1日間
学会認定・臨床輸血看護師制度協議会の認定施設
2. 研修者数：106名
（研修対象者は、筆記試験合格者107名と、昨年度の施設研修未了者2名の計109名であったが、3名が施設研修を辞退した）
3. 研修終了者数：106名
（施設研修を受けた106名において、不合格と判定された者はなかった）

(3) 最終認定者数、認定率：106名、94.6%

（受験申請者110名＋前年度病院研修未修了者2名に対する割合）

(4) 講評

大宮ソニックシティを会場として、平成26年11月8日（土）に講習会が、9日（日）に筆記試験が行われた。今回の受験申請者数は110名（新規申請107名、再申請3名）であったが、3名が辞退され、107名が講習会、試験を受けた。

講習会は8日、13時よりスタートし、6名の講師により途中で約20分の休憩を挟み、19時まで行われた。テーマは内科・血液内科、外科、産科婦人科、周術期・救急・麻酔、小児の各領域における輸血療法とした。

筆記試験は9日に行われ、講習会参加者107名全員が受験した。結果は上記の如くで、昨年より平均点が8.5点上昇し、全員が60点を超えており、107名を合格と判定した。

病院研修は全国80の指定施設で行われた。評価は、①輸血の意義と目的、②血液製剤の取り扱い、③輸血看護、④輸血副作用、⑤輸血検査、⑥血液製剤の準備・払い出し・管理、⑦症例検討の計7項目について、それぞれ（a）特に優れている、（b）優れている、（c）良い、（d）劣る、の4段階で行われた。総合評価は（a）41.5%、（b）55.7%、（c）2.8%で、（d）判定は皆無であったが、①～⑦の項目別では、特に⑤輸血検査において、（a）34%、（b）53%、（c）14%と、（c）の評価が他項目に比し、多かった。何れにしろ、総合判定で（d）と評価された受験者はなく、病院研修を行った106名（筆記試験合格者107名中、1名が辞退）の修了が確認された。

以上より第5回目は106名が学会認定・臨床輸血看護師と認定された。過去、4回までの622名と合わせると、認定者数は728名となった。

以上より第5回目は106名が学会認定・臨床輸血看護師と認定された。過去、4回までの622名と合わせると、認定者数は728名となった。